

平成30年9月26日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国
韮山営農センター

第12回 (9/26号)

水稻病虫害発生予察の結果について

本年の水稻病虫害発生予察も本日で最終となります。期間中ご協力ありがとうございました。

①生育状況

生育状況は、韮山地区は糊熟期～登熟期となっており、長岡・大仁地区は登熟期～黄熟期となっています。

神島地区では、籾の8割程度が着色すすんでいました。青い籾が5～10%残っている程度が収穫適期となります。刈り遅れに注意して収穫作業を行って下さい。

②病虫害状況

病虫害に関しては、ウンカやヨコバイの成虫が飛んでいるのは確認できましたが、幼虫の発生は減っており、秋ウンカの発生も巡回の中では確認できなかったため、急を要する消毒は必要ないと思われます。今後、坪枯れ症状が見られた際には、発生圃場及び周辺圃場の収穫までの日数に注意し、薬剤散布をご検討下さい。

病害の発生については、先週から引き続き、「稲こうじ病」、「紋枯れ病」、「内穎褐変症」等の病害が確認されております。防除時期は穂ばらみ期～穂揃い期までになるので、多い圃場は次作の対応をご検討下さい。

③その他

来週も台風の接近が懸念されています。今後収穫までに倒伏があった場合、傾く程度でしたら品質に問題ありませんが、成熟した籾が浸かるような倒伏をした場合には、発芽や腐る恐れがありますので、早めの収穫を心がけて下さい。

④資材紹介

<殺虫剤>

○トレボン粉剤 DL→ 3～4kg/10a を散布

ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類に効果を発揮します。

※ 収穫7日前までに3回以内で使用できます。

※ ドリフト（農薬飛散）に注意して下さい。

問い合わせ：韮山営農センター 西島

TEL 055-949-0055